

防災講習会の支援

テーマ	大規模災害対策
キーワード	防災意識啓発、自助・共助・公助、避難、防災情報、マイ・タイムライン、ハザードマップ、ワークショップ

背景・目的

【背景】

近年、気候変動などの影響により、風水害の激甚化・局所化の傾向がみられ、大きな被害が頻発しています。こうした風水害に備えるためには、河川堤防の整備等のハード対策に加え、住民の自助意識の向上等のソフト対策を講じる必要があります。

平成 29 年に水防法および土砂災害防止法が改正され、要配慮者利用施設における避難確保計画の作成と訓練実施が義務化される等、住民の自助意識の向上・避難行動検討の具体策が進められています。

【目的】

そこで弊社は、住民の自助意識向上・避難行動検討を目的とした、専門知識を有する技術者による防災講習会支援を行います。

講習内容（例）

① 防災気象情報

近年の気象災害の概要や多岐にわたる防災気象情報、警戒レベルと防災気象情報の対応等について解説します。防災気象情報は、頻繁に更新・新設されるため、最新情報を提供いたします。

② 避難確保計画・個別計画作成

平成 29 年に水防法・土砂災害防止法が改正され、地域防災計画に定められた、浸水想定区域・土砂災害警戒区域内の要は慮者利用施設において、避難確保計画作成と避難訓練実施が義務化されました。また、令和 3 年に災害対策基本法が改正され、避難行動要支援者に対して個別避難計画の作成が努力義務となりました。

これらの計画を容易に作成できるツールを用いた講習会を行います。

③ マイ・タイムライン作成

ハザードマップの読み方や、避難先選定のポイント等の解説を交えながら、マイ・タイムラインの作成方法を説明します。

講習会の形式

1 回あたり 2 時間での講習会を基本に開催します。講習会の前半を情報提供の座学、後半を実践とすることを想定しています。実践においては、実際に避難確保計画やマイ・タイムラインを参加者一人一人に作成していただきます。疑問点等に対して、経験豊富な弊社スタッフがサポートいたします。この他、講習会の目的に応じた形式やプログラム等を検討します。

日本工営株式会社

お問合せ	内容に関するご質問は、以下のホームページからお問い合わせください。
	URL http://www.n-koei.co.jp/contact/

講習会タイムスケジュール ～マイ・タイムライン作成をテーマとした場合の例～

講習会内容	担当	時間配分	
		講演	累計
1. 開会挨拶	自治体職員	5 分	5 分
2. 講習会開催目的および近年の動向について	弊社	10 分	15 分
3. 水害リスクの認識・ハザードマップについて	弊社	20 分	35 分
4. ～実践～マイ・タイムラインを作ってみよう！	弊社	80 分	115 分
5. 連絡事項・閉会挨拶	自治体職員	5 分	120 分

講習会開催までの流れ

講習会までの流れ（目安）

時期	内容	備考
～2 か月前	○事前打合せ ・講習会内容や資料のイメージの確認 ・役割分担の確認 ・自治体の地域特性・留意事項等の確認 ・住民の避難に関する考え方の確認	住民の避難行動検討には、避難先の決定が最重要です。優先的に開設する避難所の有無、垂直避難を推奨したい等、避難に関する考え方を確認させていただきます。
	○会場下見 ・広さの確認 ・什器・映像・音声機器の確認	会場を下見し、レイアウト図を作成します。また、オンラインでの開催も可能です。
～1 か月前	○開催案内	主催者から開催案内を展開いただきます。
～1 週間前	○資料確認・備品準備	作成資料は随時確認いただき、ブラッシュアップいたします。
当日	○講習会開催	住民の自助意識の向上に資するべく最善を尽くします。

技術ポイント

■各自治体の事情を反映させた内容検討

講習会前に事前打合せをさせていただき、各自治体の地域特性や避難に関する考え方を講習会資料に反映させ、各自治体オリジナルの講習会を開催します。

■実効性の確保

避難計画やマイ・タイムライン作成の講習会を開催する場合、多くの経験を有する弊社スタッフが、講習会参加者の計画作成をサポートします。これにより、実効性の高い計画の作成が期待できます。また、講習会後も、自治体窓口に寄せられた質問に対して、適宜アドバイスさせていただきます。

関連実績

防災講習会支援	北上川下流河川事務所:水防災意識社会再構築方策等検討業務(R2) 浜松河川国道事務所:令和2年度 浜松河川管内水防行動計画検討業務(R2) 他
---------	--